

かてきょー

令和8年10月発行

中濃県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育担当:塚原

〒501-3756 美濃市生櫛1612-2

TEL: 0575-33-4011 (内線210)



美濃市 中有知公民館

中学生ボランティアとつくる 子育て講話&座談会

美濃市中有知地区では、8月3日(月)に、中有知公民館と乳幼児子育てサロン「あひるさん・パンダちゃんの会」との共催による「子育て講話&座談会」が開催されましたのでご紹介します。

【開催の目的】

保護者が子育てについて学びながら、日頃の悩みや不安を気軽に相談できる機会を提供するため、公民館主事や主任児童委員が中心となって開催しました。

【当日の様子】



当日は、美濃中学校の生徒15名がボランティアとして参加し、会場の準備や後片付け、講話中の託児などを担当しました。乳幼児との接し方に慣れていない生徒もいることから、最初の20分間は保護者と一緒に乳幼児とふれあう時間を設けました。その後、保護者は別室に移動し、子育てに関する講話や座談会に参加しました。



子育て講話は、中濃県事務所の家庭教育推進専門職が講師を務めました。講話後の座談会では、保護者の皆さんが大きな輪になり、「わが子の素敵なおところ」や「便利な時短グッズ」などをテーマに、交流を深めました。和やかな雰囲気の中で会話が弾み参加者同士が子育ての喜びや日頃の工夫を共有し合うなど、有意義な時間となりました。

保護者からは「子育てのお話を聞いたり自分のことを話したりして、すっきりした気持ちになりました」中学生からは「赤ちゃんは話ができないけれど、何となく気持ちがわかって嬉しかったです」などの感想が寄せられました。保護者にとっては子育てについて学び悩みや不安を共有する機会となり、中学生にとっては乳幼児とのふれあいを通して命の尊さや子育ての大変さを実感する貴重な体験の場となりました。

【取材を終えて】

地域の中学生と乳幼児親子が交流する貴重な機会となりました。講話や座談会では、保護者同士が子育ての悩みや工夫を共有し合い、中学生は託児を通して乳幼児との関わり方を学びました。世代を超えたつながりの中で、互いに学び合い支え合う地域の温かさを感じる取組でした。



語り合い、つながる 出前子育てサロン&縄跳び作り

関市立田原保育園では、8月10日(月)の参観日に、関市生涯学習課主催の「出前子育てサロン」と園主催の「親子で縄跳び作り」が開催されましたのでご紹介します。

【開催の目的】

出前子育てサロンや縄跳び作りを通して、保護者同士が気軽に交流し合い、子育てのヒントを得るとともに、悩みや不安を軽減できる機会を設け、親子のコミュニケーションを深めることを目的に開催しました。

【当日の様子】

【出前子育てサロン】



家庭教育サポーターがグループ交流のサポートをされました。保護者からは、「自分だけじゃないと安心した」「話を聞いてもらえてスッキリした」などの感想が寄せられました。気軽に語り合い、互いに共感し合うことで、心が軽くなり、明日からの子育てへの元気をもらえる時間となりました。

【親子で縄跳び作り】



細長い8色の布の中から好きな3色を選び、親子で力を合わせて三つ編みにしていきしました。布で作った縄跳びは床に当たっても跳ね返りにくく、小さな子どもでも扱いやすいのが特徴です。完成した縄跳びは、今後園や家庭での遊びに活用されるほか、秋の運動会でも披露される予定です。

〈進行：関市生涯学習課

家庭教育専門員〉

1. 園長先生のあいさつ
2. サロン開催の3つの約束確認
3. 子育て講話タイム
 - ① アイスブレイク
 - ② ワーク
「この子の個性って何？」
 - ③ ミニ講話
「スマホの脳への影響」
4. 交流タイム
5. 園長先生の終わりの言葉

【取材を終えて】

保護者同士が子育てへの思いを語り合い、親子が協力して活動に取り組む姿が印象的でした。家庭教育サポーターの支援により保護者が安心して交流できる場が生まれ、子育てを一人で抱え込まないための地域のつながりの大切さを改めて感じることができました。またアイスブレイクや進行などを家庭教育サポーターが担うことで、園や保護者役員の負担軽減にもつながっていました。

子どもたちの健やかな成長のためには、園・家庭・地域の温かなつながりが欠かせません。今回の講話や子育てサロン、親子活動は、保護者同士の交流を深めるとともに、親子の絆を育み、子育てへの安心感や前向きな気持ちを高める貴重な機会となりました。

関市立桜ヶ丘中学校 赤ちゃんとのふれあいから学ぶ いのちの授業

関市立桜ヶ丘中学校では、9月9日（水）と11日（金）の2日間、関市保健センター主催の「いのちの授業～赤ちゃんふれあい体験～」が開催されましたのでご紹介します。

【開催の目的】

関市では、中学3年生を対象に、乳幼児親子との交流を通じて命の尊さや子育てへの理解を深める「いのちの授業」を実施しています。本事業は、生徒が自他の命の大切さを学ぶとともに、自身の成長過程を見つめ直し、保護者への感謝の気持ちを育むことを目的としています。

【当日の様子】



4クラス合同で性に関する学習を行った後、クラスごとに乳幼児親子とのふれあい体験を実施しました。生徒たちは幼児と一緒に遊んだり、赤ちゃんにミルクを飲ませる体験をしたりしました。また、保護者の方々と交流しながら、命の尊さや子育ての温かさに触れることができました。最初は少し緊張していた生徒たちも、ふれあいを通して自然と笑顔になり、会場には温かな雰囲気が広がっていました。



保護者の方々は、妊娠中のエコー写真や出産時の写真を見せながら、そのときの思いや出産までの歩みについて話してくださいました。生徒たちは真剣な表情で耳を傾け、一枚一枚の写真に込められた家族の願いや喜びに思いを馳せていました。体験後には、「出産だけでも大変なのに、その後も愛情をもって育ててくれるお母さんは本当にすごいと思った」「妊娠中から出産後まで大切に育まれていく命の尊さを改めて実感した」「自分が生まれたときのことを家族に聞いてみたいと思った」などの感想が寄せられました。

【取材を終えて】

生徒たちは、乳幼児や保護者とのふれあいを通して、命の大切さや家族の愛情を実感していました。自分自身も多くの人に支えられながら成長してきたことに気付く貴重な機会となり、多くの生徒の心に残る体験となったようです。

学びの秋に突入！「家庭教育について学ぶ動画」をご活用ください！

<岐阜県広報課のYouTubeチャンネルに掲載>

どなたにも観ていただけるよう、年々、内容をブラッシュアップしています。家庭教育学級で、ご家庭で、今後、学校で開催される就学時健診等の待ち時間や休憩時にも、是非、ご活用ください。

家庭教育について学ぶ動画

小中学生以上の保護者向け



下記の二次元コードから気になる動画をチェック！
特設サイト「みんなで家庭教育」からも視聴できます。→



ストレス軽減法

だれもがストレスを感じる場合があります。この動画では、ワークを通して、少しの見方、考え方や人への伝え方を変えることで心穏やかに過ごすコツを学びます。(6分29秒)



スマホのルール

スマホトラブルの事例、スマホを持つ上での約束、家庭で決めるルールの例を紹介しています。(7分56秒)



愛の鞭ゼロ作戦

「コロナ虐待」という言葉が生まれるほど、自粛ストレスでの虐待が心配されます。虐待が子どもの脳に与える影響を理解し、体罰によらない子育ての5つのポイントを学びましょう。(9分56秒)



愛着

子どもたちの願いを叶えるために、おうちの人にも一緒に取り組み、一緒に喜びを感じることの大切さを紹介しています。おうちの人が変わり、励ますことが親と子の結びつきを強くし、子どもたちの自己肯定感を高めます。(5分53秒)



基本的な生活習慣

「昼間、ぼうつとしていて眠そうにしている。」「いつも疲れていてやる気が見られない。」「といった心配はありませんか。この動画では、子どもたちの生活習慣を改善するためのヒントやよい睡眠をとるためのポイント、あいさつと生活習慣との意外な関係について紹介しています。(6分30秒)



読み聞かせのよさ

物語を読むことの価値を「おおきなうさぎ」を例に紹介するとともに、感性や想像力を育てるなど、読み聞かせのよさを5つにまとめています。「読み聞かせ週間」「親子読書」などで利用できるプレゼンです。(9分46秒)



思いを伝えいっしょにやりきろう 「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

「子どもが言うことを聞いてくれない。」「どうしたら〇〇ができるようになるの?」といった悩みに対し、お子さんへどのように自分の気持ちを伝えとよいか、親子でどのように取り組むとよいかを紹介しています。(8分25秒)



働くことは社会的自立の第一歩

将来、子どもが職業に就いて働くために、今、大切にしなければならないことについて考えましょう。(5分06秒)



● 問い合わせ先

岐阜県県民生活課生涯学習係

TEL 058-272-8752